

平成28年度事業評価シート

事業名	11100	議会運営事業費		担当課	議会事務局		内線
							2512
予算	会計	1	一般会計	総合計画	基本分野	6	協働・行政
	款	1	議会費		個別分野	3	行財政運営
	項	1	議会費		施策の概要	1	効率的・効果的な行政運営の推進
	目	1	議会費				
根拠計画	-						
実施計画事業	議会運営事業						

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	全市民	対象者数	90,024 人
	どういう状態にしたいのか(意図)	市民にとって、わかりやすく開かれた議会運営		
概要	事業の実施手法(手段)	<ul style="list-style-type: none"> 議会・委員会等の開催 市民意見交換会(地域別・分野別)の開催 議会審議の中継(ホームページ、CATV等) 政策提言の実施 議会広報紙の発行 議会情報及び会議録の公開(ホームページ等) 		

2 事業の推移・結果(Do)

成果面	H27の実績	<ul style="list-style-type: none"> 議会・委員会等の開催 市民意見交換会(地域別・分野別)の開催 議会審議の中継(ホームページ、CATV等) 議会関係事務 議会広報紙の発行 議会情報及び会議録の公開(ホームページ等) 							
	活動指標	指標名	単位	目標・実績	H27	H28	H29	H30	H31
成果指標	議会広報紙の発行回数	目標値	回	4	4	4	4	4	
		実績値	回	4	-	-	-	-	
		算出根拠等		達成率(%)	100	-	-	-	-
		市民意見交換会の開催回数	目標値	回	26	27	27	27	27
			実績値	回	26	-	-	-	-
			算出根拠等		達成率(%)	100	-	-	-
	市民意見交換会の参加者数	目標値	人	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	
		実績値	人	595	-	-	-	-	
		算出根拠等		達成率(%)	60	-	-	-	
		政策提言数	目標値	件	3	3	3	3	3
			実績値	件	0	-	-	-	-
			算出根拠等		達成率(%)	0	-	-	-
コスト面	事業費(人件費を除き繰越・補正を含む)			H27 決算額	H28 予算額	H29 予算額	H30 予算額	H31 予算額	
	歳出(千円)			(A)	24,587	30,159	-	-	
	受益者負担(使用料・負担金等)								
	その他特定財源(国・県支出金・起債等)								
	一般財源				24,587	30,159	-	-	
	受益者1件当たり(円)			(A/B)	270	335	-	-	
コスト指標	受益者	市民(4月1日現在)	(B)	90,938	90,024	-	-		

3 分析・評価(Check) ※平成27年度の実績を評価

評価項目	評価観点	評価基準	評価	評価内容の説明(評価の理由等)
① 市民ニーズの確認	・事業実施に対する市民ニーズの傾向はどうか ・社会情勢の変化など時の経過に伴いニーズは減少していないか	A (2) ニーズが高い	A	議会活動に対する市民のニーズは高い
		B (1) ある程度のニーズがある		
		C (0) ニーズが低い		
② 市が実施する必要性	・市が事業主体であることは妥当か ・国・県・民間の活動と競合していないか	A (2) 事業主体を見直す余地はない	A	議会が実施すべき事業である
		B (1) 一部見直しが必要である		
		C (0) 市が実施する必要性が低い		
③ 活動内容の有効性	・目的とする成果があがっているか ・成果指標などの目標値の達成状況はどうか	A (2) 目的とする成果が十分にあがっている	B	成果指標において目標値に達していないもの、参加者が拡大(年齢・性別)し、意見が増加しており、ある程度成果があがっている
		B (1) 目的とする成果がある程度あがっている		
		C (0) 目的とする成果があがっていないため大幅な見直しが必要である		
④ 執行方法の効率性	・最小限のコストで事業を実施できているか ・委託など事業の効率化・省力化に向け実施手法に改善の余地はないか ・国等の補助金の活用など市の財政負担を軽減する余地はないか ・受益者負担は適正か	A (2) 事業効率化・コスト縮減等の改善の余地はない	B	コスト縮減に努めている
		B (1) 事業効率化・コスト縮減等がある程度図られている		
		C (0) 効率化が図られていないため大幅な見直しが必要である		
⑤ 政策面における効果	・事業の実施が市の政策、施策の推進に効果があったか ・総合計画及び主要計画等の目標達成を図る上で有効に機能したか	A (2) 効果があった	B	政策課題の解決に向けた調査研究を行っている
		B (1) ある程度効果があった		
		C (0) あまり効果が見られなかった		

合計	7 / 10	→	100点換算	70 点
----	--------	---	--------	------

分析・評価で明らかになった課題(FA)評価にするために何が必要なかを記入)	・より一層の市民との情報共有、市民の意見の市政への反映
---------------------------------------	-----------------------------

(参考)前年度事業評価結果(二次評価)	・より一層の市民との情報共有、市民の意見の市政への反映
---------------------	-----------------------------

4 今後の方向性(Action)

課題等に対する28年度の対応状況	・より一層の市民との情報共有、市民の意見の市政への反映
------------------	-----------------------------

担当課における次年度の考え方	○	維持・改善	拡大	縮小	廃止の検討	H27完了	H28完了予定
	・より一層の市民との情報共有、市民の意見の市政への反映						